

**オオバジュズネノキ(アカネ 科)***Damnacanthus macrophyllus* Sieb. ex Miq.

兵庫県：Cランク

環境省：-

**種の概要**

林内に生え、まばらに分枝して高さ1-2mになる常緑低木。若枝には短毛が密生する。根は細長い数珠状に肥厚する。ふつう托葉の内側に長さ1-2mmの短い刺があるが、ないものもある。葉は楕円形または長楕円形で先は鋭くとがり、基部は鋭形ときに鈍形または円形、両面は無毛、葉柄は長さ1-3(-7)mm、葉身は長さ4.5-10cmになり、幅1.8-3cm。4-5月、枝先または葉のわきにできる短い花序に(1-)2個の花をつける。萼筒は長さ約1mm、短毛を散生し、先は4裂し、裂片は広三角形で先がとがり、長さ約0.5mm。花冠は白色、筒は長さ約9mm、裂片は三角状卵形で先がややとがり、長さ約2mm。葯は長さ約2mm。

**国内分布**

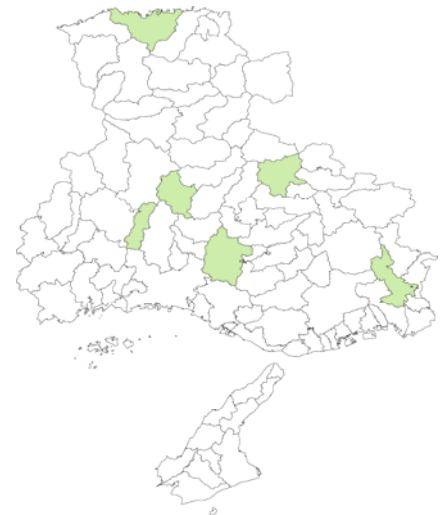
本州（近畿以西）、四国、九州

**県内分布**

香住町、安富町、大河内町、加西市、氷上町、宝塚市

**選定理由**

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
		○				○

**特記事項**

標本は多数確認されている。2009年版でBランクからCランクに変更。

**保護上の留意点**

生育地の保全